

平成 2 1 年

第 4 回防府市議会定例会

一 般 質 問

平成 2 1 年 6 月 1 6 日 (5 人)

6 月 1 7 日 (5 人)

6 月 1 8 日 (4 人)

6 月 1 9 日 (4 人)

	1	今津 誠一	
質 問 事 項			要 旨
1 . お宝発見！伊藤博文公			<p>(1) 本年を防府市再生元年と位置づけ、防府のお宝発見の年としている。発見したお宝を活かして再生の起爆剤としたい。</p> <p>これまで天満宮ゆかりの梅を活かしたまちおこし、防府市出身の高樹のぶ子氏の作品を活かしたまちおこしを提案したが、今回は防府市と縁の深い明治維新の元勳 伊藤博文公を防府のお宝として取り上げ、観光、教育、富海地区の振興に活かすことを提案する。</p> <p>そのために市内の小中学校で史実や彼の功績、彼の大精神を教えて貰いたい。</p> <p>又、観光の振興と富海地区の活性化のために顕彰委員会を立ち上げ、様々な課題を検証して貰いたい。</p>

	2	齊藤 旭	
質 問 事 項			要 旨
<p>1．環境と観光対策について</p> <p>2．救急医療対策について</p>			<p>(1) 広葉樹(紅葉樹)の植栽と保護による地球温暖化防止と観光対策について</p> <p>(1) A E D (自動体外式除細動器)の設置と使用方法の徹底について</p>

	3	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
<p>1．児童生徒の情操・倫理教育について</p> <p>2．障害者への支援について</p>	<p>(1)心の教育・人権教育の実態と今後の育成計画について (本市の実態・・・成果が出ているのか。)</p> <p>(2)動物介在教育について、どのように受け止め、道徳教育を今後どのように進めていくのか。</p> <p>(1)障害者の雇用と工賃倍増5か年計画の進捗状況は。(具体的な支援策は。)</p> <p>(2)身体障害者補助犬法に対しての市の考え方は。</p>	

	4	伊藤 央	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 行政改革について</p> <p>2 . 自治基本条例案について</p>	<p>(1) 本市では、市長を先頭に行政品質向上に取り組んでいるが、住民本位の行政サービスが行き届いているとは言い難い。市役所の中で、市民に最も身近な窓口サービスにも、多くの市民が不便を感じておられる。</p> <p>総合窓口制度（ワンストップサービス）の早期導入に取り組んではいかがか。</p> <p>フロアマネージャーを導入してはいかがか。</p> <p>(1) 条例案策定までの経緯について、より多くの市民の意見を取り入れる努力をしてきたか。</p> <p>(2) 市民へ広く周知する努力をしてきたか。</p> <p>(3) 「最高規範性」を謳う根拠は何か。</p> <p>(4) 市民の定義が非常に広く、一般的に考えられる「市民（住民）」と大きく乖離しているが、改めるべきではないか。</p> <p>(5) 市民との情報の共有には、情報が公正であることが担保されなければならないが、そのためにどのような努力をするのか。</p> <p>(6) 財政の公表については、「分かりやすく市民に公表する」とすべきではないか。</p> <p>(7) 条例によって本当に市民参画が推進されると考えているのか。</p>		

	5	大田 雄二郎
質 問 事 項		要 旨
1 . 県の出先機関の再編と市への権限移譲について	<p>(1) 平成 21 年 3 月 30 日に山口県のホームページで公表された、新・県政改革プランにより、防府土木建築事務所、防府健康福祉センター、防府県税事務所が平成 22 年 4 月までに統廃合される予定です。 そこで、「存続と市への権限移譲」について質問します。</p> <p>(2) 防府市民の安全、安心の為に、山口県立総合医療センターのすべての診療科の医師の確保と、呼吸器科の医師の確保について質問します。</p>	
2 . 防府市の公共施設の耐震診断と耐震化工事について	<p>(1) 防府市の公共施設（保育園、小学校、中学校、市役所、出張所等）の耐震診断を早急に実施し、耐震化工事を緊急度に応じて早期に着工すべきだと思います。景気対策と雇用対策にもなりますので、今後の対応について質問します。</p>	
3 . マイマイ新子と千年の魔法について	<p>(1) 平成 21 年 5 月 21 日に、マイマイ新子と千年の魔法の試写会と交流会に参加しました。11 月に全国公開予定ですが、観光と宿泊に来てもらうために、防府市として具体的にどのような対応を考えていますか。</p>	

	6	原田 洋介
質 問 事 項		要 旨
1．清掃事業について	<p>(1) ゴミの減量化について 平成18年9月議会で「ゼロ・ウェイスト宣言」することについて提言をさせていただきました。その時の答弁では、ゼロ・ウェイストの調査・研究を進め、本市の状況にあったゴミ減量活動を推進したいという答弁であったが、その後の調査・研究はどうなったか。 また、防府市の可燃ゴミの分類は、県内他市と比べても非常に「やさしい」ものである。これからのリサイクル型社会を考えていく上でも、分別収集を見直すべきと考えるがどうか。</p>	
2．学校給食について	<p>(1) 給食の時間の見直しについて 市内の小中学校における給食の時間において、配膳時間を含め、実際に給食を食べる時間は適正にとられているか。</p> <p>(2) 給食指導について 好き嫌いで食べ残しの多いメニューなどについて、どのように対応しているのか。</p>	
3．学校教育について	<p>(1) 市独自の正しい日本語教育を進めることについて 国際理解という大義名分の下に、小学校高学年で英語が必修化されようとしている。これからの国際社会を生き抜く上で、小さい頃から外国の文化に触れることは大切なことであるが、その大前提として、まず自国の文化をしっかりと理解し、自国の言語を学ぶことが何よりも大切である。歴史と文化の薫る防府市として、日本語教育に一層の力を入れるべきだと考えるがどうか。</p>	

	7	藤本 和久
質 問 事 項		要 旨
<p>1．安心・安全なまちづくりについて</p> <p>2．学校教育について</p> <p>3．索道事業について</p>	<p>(1) 自然災害防止対策について 土砂災害防止について 佐波川堤防の洪水に対する安全性について</p> <p>(2) 交通安全対策について</p> <p>(1) 通学区域について</p> <p>(1) 索道事業の経営状況に関して</p>	

	9	山下 和明	
質 問 事 項			要 旨
1 . 向島地区の排水対策について	<p>(1) 漁業集落排水施設整備事業について</p> <p>(2) ポンプでの強制排水場の整備について</p>		
2 . 深刻化する産科医不足について	<p>(1) 山口県立総合医療センター（総合周産期母子医療センター）の分娩予約の状況は、既に平成 21 年 12 月まで満床となっており、市内で出産のできる産科医は 1 施設、市外での出産が増えている。今後の対応策はどう考えているのか。</p>		
3 . 市内小中学校施設の耐震化推進への取り組みについて	<p>(1) 防府市立学校施設耐震化推進計画では、平成 20 年から平成 32 年の 13 年間を目標にしているが、前倒しを含む今後の耐震化予定等について。</p>		

	10	山根 祐二	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . スクールニューディール構 想の推進について</p> <p>2 . 高齢者の交通事故防止対 策について</p>			<p>(1) 災害時避難所となる市内すべての小中学校に太陽光式外灯を設置することについて。</p> <p>(2) 温暖化防止や子供の遊び場として注目される校庭の芝生化に取り組んではどうか。</p> <p>(3) 現在、小中学校のパソコン学習はどのように行っているのか。</p> <p>(4) 小中学校の校内 LAN や電子黒板の導入、大型デジタルテレビ導入を実施してはどうか。</p> <p>(1) 本市の将来の公共交通についてどう考えるか。</p> <p>(2) 高齢者の運転免許証自主返納制度に市として特典を考えてはどうか。</p>

	1 1	高砂 朋子
質 問 事 項		要 旨
<p>1．女性の健康支援について</p> <p>2．不法投棄対策について</p> <p>3．野焼きの対策について</p>	<p>(1) 女性特有のがん対策について</p> <p>乳がん検診マンモグラフィ検査導入後の受診状況について</p> <p>乳がん検診の県予防保健協会検診車による、休日検診の実施について</p> <p>県事業で行われる、休日及び平日夜間検診利用普及の取り組みについて</p> <p>乳がん・子宮頸がん検診対象者に配布される、無料クーポン券の取扱いについて</p> <p>(2) 女性の健診率向上のための取り組みについて</p> <p>(3) 妊婦健診公費助成の継続支援について</p> <p>(1) 相談窓口について</p> <p>(2) 県事業との連携について</p> <p>(3) 市民の皆様と進める取り組みについて</p> <p>(4) 新バージョンの看板作成について</p> <p>(1) 野焼き最中の火災が市内でも起きているが、今後の防止対策は。</p>	

	12	重川 恭年
質 問 事 項		要 旨
<p>1．消費生活行政について</p> <p>2．離島（野島）について</p>	<p>(1) 近年消費生活に関する問題が多発している。消費生活行政の充実を図るべきではないか。</p> <p>(1) 防府市の離島（野島）の人口減少が続いている。生活に支障も生じているが、対策と振興策を早急に講じるべきではないか。</p>	

	13	松村 学	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 防犯灯と街路灯の整備について</p>			<p>(1) 中国電力が平成 23 年 3 月末日で、管球の無料取替えを廃止する方針になったことで、市として今後どのように対応するのか。</p> <p>(2) 全国的に安心・安全対策の意識が高まり、防犯灯の補助率の引き上げや通学路のみ補助率引き上げ等、要綱も住民のニーズによって改定されているが、市としてどのように検討されているのか。</p> <p>(3) 市道、県道に街路灯を設置して欲しいと住民からの要望が多い。市内の危険箇所を調査して、年次的に整備すべきではないか。</p> <p>(4) 今後の費用対効果や地球温暖化対策の一環として、防犯灯と街路灯の新規又は更新時にはLEDの導入ができないか。</p>

	14	三原 昭治	
質 問 事 項			要 旨
<p>1. からくり時計の維持について</p> <p>2. 新体育館の運営、管理について</p>	<p>(1) 平成19年9月議会の一般質問で、市長が「無用の長物」と答弁したアスピラート前に設置してある「からくり時計」について、行政改革等の観点から維持について協議、検討をするように要望していたが、協議、検討を行なったのか。また、市民からも維持や多額な管理費について無用で、全く無駄な経費との強い指摘があるが、これらに対して、市として対処を考えるべきではないか。</p> <p>(1) 建設中の新体育館について、平成22年7月の開館を予定しているが、基本的な運営、管理の方針は。</p>		

	15	山本 久江	
質 問 事 項			要 旨
1 . 介護保険制度について	<p>(1) 4月からの新しい要介護認定制度のもとで、利用者の生活実態を反映しない軽度の認定がでていますが、市の対応は。</p> <p>(2) 所得の少ない高齢者が、介護サービスを利用しにくい状況にあるが、利用料軽減が図れないか。</p>		
2 . 就学援助制度について	<p>(1) 2005 年度以降、準要保護者に対する国庫補助が廃止され、一般財源化されたことで、認定基準の引き下げが行なわれているが、就学困難な子どもが増えている中で、基準を引き上げるべきではないか。</p> <p>(2) 保護者の失職等経済的理由により、就学困難になった場合の対応について。</p> <p>.</p>		
3 . 点検、老朽化対策等、維持補修事業について	<p>(1) 全国的にも高度成長期に整備された道路、河川、港湾等、社会資本全体の老朽化が急速に進行している。市において、橋梁、堤防（河川、海岸）の点検及び長寿命化修繕計画は、どのようにすすめていくのか。</p>		

	16	土井 章	
質 問 事 項			要 旨
<p>1 . 雨水被害対策について</p> <p>2 . 防府市まちづくり委員会について</p> <p>3 . マツダ防府工場への給食食材の納入業者について</p>	<p>(1) 第 3 次総合計画の後期基本計画に基づく排水対策の進捗状況と未改善地域の今後の対応について</p> <p>(2) 市街地における側溝の浚渫対策について</p> <p>(3) 家庭や事業所における雨水の貯留施設設置に係る補助制度の創設について</p> <p>(4) 宅地開発における雨水処理対策について</p> <p>(1) 各種団体等の代表委員の選考の考え方について</p> <p>(2) 公募委員の選考基準について</p> <p>(1) 4 月に、マツダ防府工場への給食供給業者が変わったが、引き続き、味噌、醤油、豆腐等の食材の地元製造業者からの調達の要請について</p>		

	17	木村 一彦	
質 問 事 項			要 旨
1 . 救急医療情報キット制度について	<p>(1) 東京・港区などでは、自宅で具合が悪くなり救急車を呼ぶなど「もしも…」の時の安全と安心を守る取り組みとして、かかりつけ医や服薬内容などの医療情報を入れた容器「救急医療情報キット」を冷蔵庫に保管し、消防署との協力でその情報を救急医療に生かすシステムを始めている。本市でも実施すべきだと考えるがどうか。</p>		
2 . 国民健康保険の一部負担金減免制度について	<p>(1) 国民健康保険法第44条では、特別の理由のある被保険者で一部負担金を支払うことが困難な人に対して、一部負担金の減免や徴収猶予ができるとされている。「派遣切り」などによって生活困難な市民が急増している現在、本市でも減免制度を拡充することが必要と考えるがどうか。</p>		
3 . 特別養護老人ホームの増設について	<p>(1) 特別養護老人ホームへの入所を希望しているにもかかわらず定員オーバーで入れない待機者は依然として多い。「老老介護」のすえの悲劇など、居宅介護の矛盾が深刻になり、社会問題になっている。市の高齢者保健福祉計画実現の見通しはどうか。</p>		

	18	田中 健次
質 問 事 項	要 旨	
1. 公会計改革について	<p>(1) 「貸借対照表」「行政コスト計算書」「資金収支計算書」「純資産変動計算書」の財務書類4表を今年度までに整備し、情報の開示をするように国は求めているが、どう取り組んでいるか。</p> <p>(2) 財務書類4表は、「基準モデル」「総務省改訂モデル」「東京都モデル」のいずれのモデルで作成するのか。</p> <p>(3) これまで「総務省方式(旧方式)」で作成した「バランスシート」「行政コスト計算書」のデータは、新しいモデルで計算して、連続したデータとすることが必要ではないか。</p> <p>(4) これまでの「バランスシート」「行政コスト計算書」のデータの経年比較について、どう分析評価されるのか。</p>	
2. 下水道会計について	<p>(1) 財政健全化法に基づく指標が昨年示され、全公営企業会計7,448の中で資金の不足額がある公営企業会計は全国で256会計あり、防府市の公共下水道会計もその中に入っている。どう評価しているのか。</p> <p>(2) 下水道会計への繰出しによって、財政健全化法の4指標のうち「実質公債費比率」「将来負担比率」は、各々どう影響を受けているのか。</p> <p>(3) 一般会計への負担を少なくするため、下水道整備計画を見直す必要があるのではないか。</p>	

